

【学会情報】

日本ブドウ・ワイン学会2023年大会の開催報告

澤邊昭義¹・渡辺(斉藤)史恵²

¹近畿大学農学部, ²山梨大学生命環境学部

本年度で第38回目の日本ブドウ・ワイン学会2024年名古屋大会が、2023年12月16日から17日まで、名城大学天白キャンパス共通講義棟東（名古屋市天白区）にて開催された。名城大学中尾義則氏が大会実行委員長を務めた。

本年度の大会は、新型コロナウイルスの状況もおさまり、実に2019年大会以来の対面開催であった。そのため、中尾大会委員長をはじめ大会準備関係者に多大なる努力に感謝しております。

大会は、初日が一般講演（口頭発表）、特別講演、総会、研究会（懇親会）、第2日が一般講演（ポスター発表）、セミナー、学会賞受賞講演でした。

一般講演は口頭発表が19題、ポスター発表が12題あり、多数の発表に大会事務としても嬉しい事柄であった。

特別講演は、加藤雅士氏（名城大学農学部応用生物科学科）による「愛知の発酵食の魅力と大学ブランド清酒の開発」の講演がなされた。



大会実行委員長 中尾義則氏の挨拶



加藤雅士氏による特別講演



名城大学農学部長 氏田 稔氏の挨拶

セミナーは、喜多常夫氏（きた産業（株））による「データでみる酒類産業の多様化と、ワイン業界の課題」および川上晃氏（シンワフーズケミカル（株））による「日EU・EPAを契機として新たに認可となった食品添加物を利用したワイン製造技術について」の講演がなされた。

本大会における大会および研究会（懇親会）の参加人数は以下に示したとおりで、多数の参加を戴き、活発な質疑応答もあり、盛況におこなわれ、大きな成果を収めたと確信する。



セミナー 喜多常夫氏の講演



セミナー 川上 晃氏の講演

1. 参加者数

1-1. 大会 合計 163名

内訳

一般会員	137名
学生	19名
名誉会員	1名
招待者	6名

1-2. 研究会 合計 102名

内訳

一般会員	89名
学生	9名
名誉会員	1名
招待者	3名

2. 学会賞受賞・大会発表賞の受賞者

2023年功労賞：

後藤奈美氏（酒類総合研究所）

「日本ブドウ・ワイン学会の運営並びに日本のブドウ・ワイン産業の発展に対する貢献」



功績賞：後藤奈美氏

2023年功労賞：

小田滋晃氏

（ルイ・パストゥール医学研究センター）

「日本ブドウ・ワイン学会誌の編集，刊行および社会科学分野の論文掲載への多大な尽力」



功労賞：小田滋晃氏

2023年技術賞：

渡辺(斉藤)史恵・中川洋史・岸本宗和・久本雅嗣・奥田 徹（山梨大学）

「ワインの産膜汚染防止のための基礎的研究」



技術賞：渡辺(斉藤)史恵氏

2023年論文賞：

石井章夫¹・中尾義則²・鼠尾まい子¹・板垣 芳¹・
斯琴巴図¹・新井由紀¹・河合美波²・藤原正幸¹
(¹ヤンマーホールディングス株式会社)・(²名城大学)

「土壌特性と収穫期直前のかん水がワイン用ブドウの果実品質に及ぼす影響」



論文賞：石井章夫・中尾義則・鼠尾まい子・板垣 芳・
斯琴巴図・新井由紀・河合美波・藤原正幸



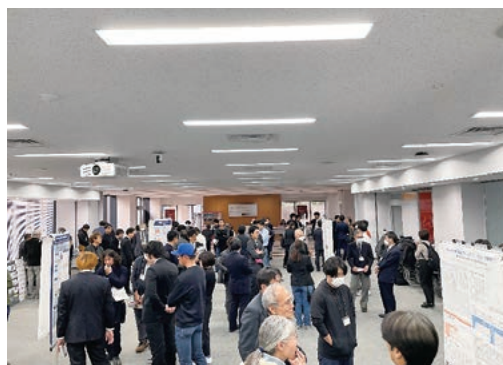
講演会場の様子

大会発表賞 口頭部門：

貝沼元気氏（山梨大学ワイン科学研究センター）
「ワイン用樽材から抽出される糖類に関する研究」

大会発表賞 ポスター部門：

三上法香氏（山梨大学ワイン科学研究センター）
「甲州ブドウの矮性育種に向けた植物ホルモン応答遺伝子 VvSAUR50 の機能評価」



ポスター会場の様子



大会発表賞 口頭部門：貝沼元気氏



大会発表賞 ポスター部門：三上法香氏

3. ワイン寄贈団体：企業名

アサヒビール（株）
池田町ブドウ・ブドウ酒研究所
（株）岩の原葡萄園
（株）エーデルワイン
サントネージュワイン（株）
サントリー（株）登美の丘ワイナリー
三和酒類（株）安心院葡萄酒工房
北海道ワイン（株）
マンズワイン（株）
シャトー・メルシャン
北海道大学様 曾根先生ご提供（シードル）
（株）広島三次ワイナリー
（有）朝日町ワイン
丸藤葡萄酒工業（株）
（株）島根ワイナリー
（有）ココ・ファーム・ワイナリー
さぬきワイナリー 望岡先生ご提供
サッポロビール（株）
（株）アルプス
（株）林農園
（株）高畠ワイナリー
旭洋酒（有）
丹波ワイン（株）

（順不同）

以上